

かちかち山^{やま}
2

◇かちかち山◇

それから、何日^{なんにち}かたったある日^ひ、うさぎは山^{やま}でたぬきをまちぶせていました。

①「たぬきさん。たぬきさん。たのみがあるんだ。」

②「前山^{まえやま}のうさぎさんじゃないか。どうしたんだい。」

③「おいら、たきぎをあつめたんだけど、足^{あし}をけがしてしまつて、たきぎをはこべなくなつたんだ。おいらのかわりにたきぎをせおつてくれないか。」

何^{なに}もしらないたぬきは、

④「なんだ、おやすいごようさ。」

と言って、たきぎをせおい、歩^{ある}きはじめました。

問ー ①から④のことは、うさぎと

たぬきのどちらが言ったことばでしょ

うか。うさぎなら「う」、たぬきなら

「た」を「」にかきましょう。

① 「」

② 「」

③ 「」

④ 「」

うさぎは、たぬきの後あとについて行きながら、

カチカチ

カチカチ

と、火ひうち石いしでたきぎに火ひをつけます。

「おや、何かなにカチカチと音おとがするね。」

ふしぎそうに、たぬきが言いいます。

「ああ、あれは、山やまのカチカチ鳥とりという、鳥とりのなきごえだよ。」

カチカチ

カチカチ

うさぎは、そう言いってごまかしながら、たぬきのせおったたきぎに、さらに火ひをつけます。

「そうか。でも、そんな鳥とりいたっけかなあ。それに、さっきか

問2 たぬきが、せなかにせおって

るものは、何なんでしょうか。

ア たきぎ

イ ロケット

ウ たきび

エ ばくだん

「」

「何か^{なに}こげくさいね。」

たぬきがふりむこうとしますので、うさぎさんは、

「たぬきさん。後ろ^{うし}をむいたら、たきぎがくずれてしまいます

よ。ちゃんと前^{まえ}をむいて歩いて^{ある}ください。」

と声^{こえ}をかけます。そして、さらにさらに

カチカチ

カチカチ

と、たぬきのせおったたきぎに火^ひをつけます。

もう、たぬきのせなかのたきぎは、ぼうぼうにもえ上^あがって
います。

⑤「あちちちち！うさぎめ、よくもやってくれたな。」

ようやく気^きがついた時^{とき}には、うさぎはもうどこかへにげてし
まった後^{あと}でした。

問3 — ⑤「あちちちち！」とたぬき

が言^いっていますが、なぜでしょう。

ア おゆがわいたから。

イ おみそしるがあつすぎたから。

ウ せなかのたきぎがもえているから。

エ ポテトがあげたてだったから。

「
」